

2023年 あいさつ

～沖繩キリスト教学院 同窓会会長 新年の挨拶～

同窓会会員の皆様そして、本学院の学生と教職員の皆様、遅ればせながら同窓会長として、新年のご挨拶を申し上げます。新年明けましておめでとうございます。

コロナ感染が世界に急拡大し2022年の中途まで全国的に人の行動が制限され、やっと、3年ぶりに諸々のイベントが再開され、社会が活気を帯びて来た事はうれしい限りです。新しい年の干支は兎年大変縁起の良い年であるようです。皆様方にとってはまだくすぶっているコロナ感染を払拭してインフルエンザに打ち勝ち、健康で幸せな一年になりますように祈念申し上げます。

さて、振り返って見ますと、私も第11代同窓会会長として2007年4月に選任されてから在位年数が15年余になりました。その間、私に関わってきた主な出来事を3点挙げると、①2008年3月、学院創立50周年事業に同窓会主催のチャリティーゴルフ大会を開催し収益金を寄付できた事、②2009年12月、「人づくりの根っこを求めて」と題して、東京から川平朝清氏をお迎えしての講演会、南島詩人の平田大一氏とのコラボで同窓会、在学生会で「肝高の詩踊り」を挙げる出来事、③2020年と2021年の2年掛りでキャンパス緑化事業の一助にでもなればと言う思いから、理事長室、学長室側の町道沿いに、沖縄緑化推進委員会のご支援で緑の募金公募事業に応募して42本の福木を植栽出来た事です。

私も同窓会長になってからの数年後からはマンネリ化の継続で、いかに活性化出来るかとの葛藤でした。後継者探しに側近の役員に相談し、やっと2年程前に適任者が見つかり、副会長を経験してもらった後、新年の評議員会会合では本人の意思確認と所信表明も聞きました。

同窓会には例年行事があつて、学校側に委託した6名の学生への奨学金の贈呈、新旧学生会役員と理事長、学長、事務局長を交えた懇親会（しかし、コロナ禍で3年間開催出来ず）、入学生への記念品贈呈、学生会主催の学園祭への参加、そして、定期総会・懇親会の開催です。これ等の行事は22名の役員、評議員会会員のバックアップのお陰で乗り越えてくる事が出来ました。

同窓会交流の一助として、2009年4月にシャローム会館が落成し館内に同窓会専用の事務所が出来日常の同窓会業務はスムーズに行う事が出来ました。同窓会へのご意見等がございましたら事務局までお寄せ下さい。

2023年1月28日

沖繩キリスト教学院同窓会

会長 譜久原 朝儀